

Webビズ研

「デジタルと映像の超入門 ～これまでとこれからの話～」

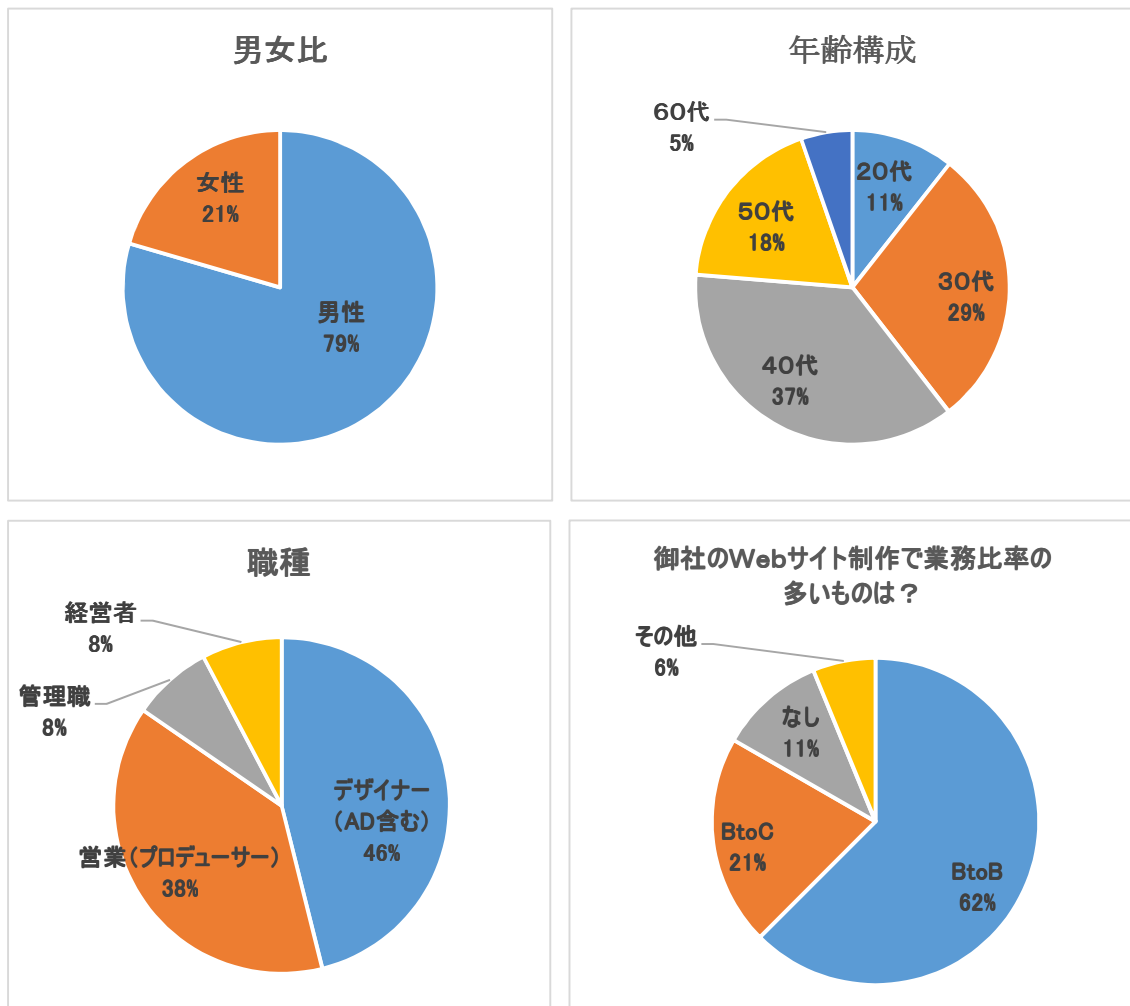
開催日：2015年3月11日（水）17時～19時

講師：稲崎知也氏（株）電通テック イベント・スペースプロモーション部門
スペースソリューション事業部 テクニカルデザイン部 部長

参加者数：41名（申込み42名：参加率98%）

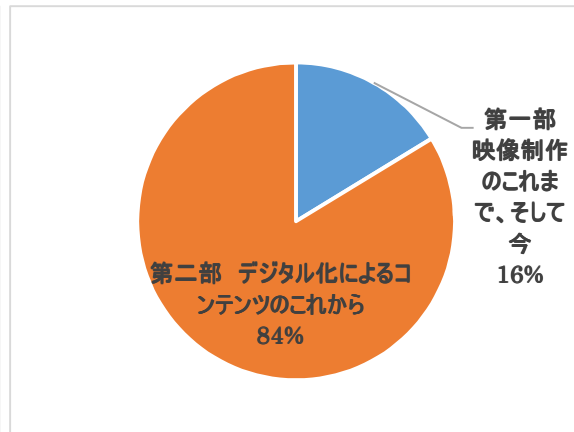
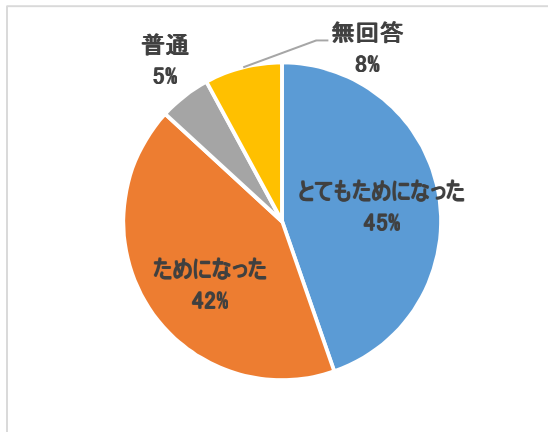
アンケート回収数：39名（回収率：95%）

■ 参加者に関して



■本日のセミナーについて

■本日のセミナーで興味深かったのは？

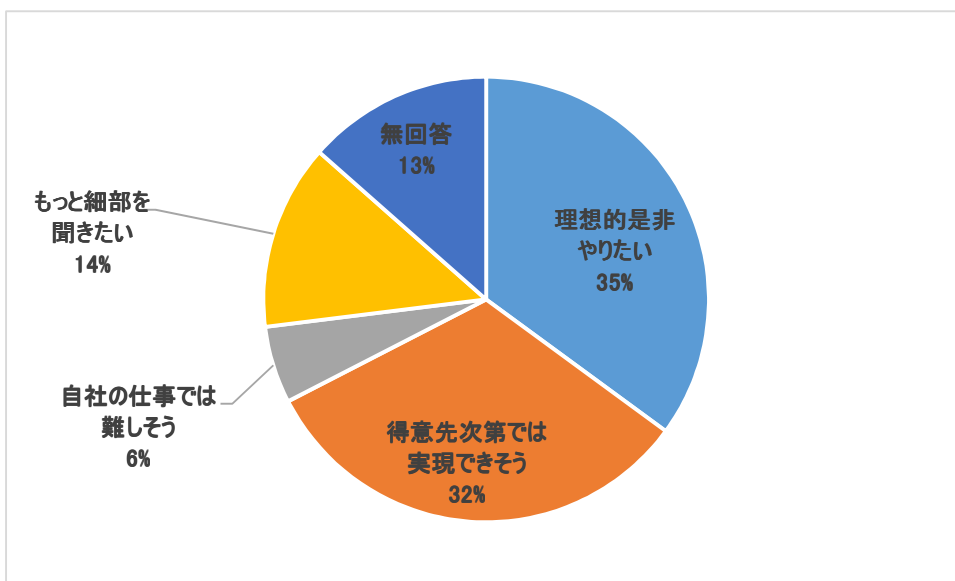


■ 興味深かった具体的な内容は？

- アドビマックスの話（アプリケーションの進化）
撮影ツールの幅
- 「ずっと動いているものは見ない」
- 動き続けているだけでは駄目（企画の参考になった）
- 動画における静止画要素と動画要素の違い
- 「動画×静止画」
- 静止画と動画を組み合わせ、新しい価値をつくる手法
- マーケティング主導という視点
- 動画の時代？というのが疑問だという捉え方
- サイネージはデザインが大切
- グーグルの先進性をウオッチする
- 動画と静止画が及ぼす広告効果
- デジタルの現在と未来
- 動画は万能ではない。
- 未来予測と書籍紹介は参考になりました
- ユーザーの使用しているデバイスの変化について
- 新しいテクノロジーへの恐怖が薄れました
- デジタルとアナログのそれぞれの強み、弱み
- 「オタク」くんのチカラ
- カメラマッピングやビッグデータの活用など最新動向
- ホストプロダクションの領域をあらためて整理できた。またその技術が一般の人にも手が届く範囲になっていること

- 普段の仕事がアナログなのでこれから学んでいきたい
- 広告の中の動画、広告のこれから、テクノロジー
- アナログも廃れず共生していくということ
- テクノロジーの進化の速さをキャッチアップしていくことは、この時代に生まれた者の宿命である点

■ 本日のセミナーを仕事で活用できそうですか？



■ 本日のセミナーを聴いての感想は？

- 参考になった
- 面白かった
- 少し映像に対してのハードルが下がった
- これから動画を行っていかうと思っていた矢先だったので参考になった
- 先行きが怖い
- 第二部の内容はこれからの動画の活用を生かせそう
- 過去から現在までの映像の流れを、広告やマーケティングを含め理解されている稲崎さんの話を聞いて良かった
- もっと沢山の事例を見たかった
- 時代に追いついていないことを痛感した
- 今までの広告と次世代の広告のアプローチが少し理解できた
- 普段考えていないことに触れ、刺激を受けた

- 動画制作のメイキング映像があるととってもよかった
- こんな優秀な方がたくさんいるとしたら電通テックはすごすぎです
- 想像以上の内容でした
- シンプルにワクワクした
- 具体的なお話が聴けて楽しかった
- とても理解しやすかった
- ニーズが変わってきている中、考え方を学べてよかった
- 危機感と希望を両方感じたセミナーでした。稲崎さんの語り口、とても好きになりました

■ 聴講したいセミナーテーマがありましたら、お聞かせください。

- 今回の続き
- 動画のことをもっと知りたい
- エンターテインメントとネットワーク
- デジタルマーケティング
- デジタルとリアルのコンテンツを具体的に考えるセミナー
- AR、VRの可能性
- サイネージについて
- 広告の未来について
- デザイン・映像がビジネスにおいてどのような影響や費用対効果があるかなど、ビジネスとリンクしたセミナー
- 動画とネット広告の活用方法
- Web動画の様々な実績を知りたい
- Webと動画をMixさせるための必要な要素、考え方
- デジタルデバイスのビジネス面での活用方法
- 生活の変化と未来について
- データ解析
- Webコミュニケーションにおけるコピーライターの役割
- 動画の撮り方
- Webデザインのトレンドについて